

設立趣旨書

特定非営利活動法人MSISK

設立代表者 岩崎 拓海

1 趣旨

環境問題が深刻化する現在、人々の生活に大きな影響を与えています。特に都会では、自然が次々と失われており、そこに住む人々の心も疲れ、様々な社会問題を生んでいます。そのような中で、日本の現状を考えながら、自然の大切さを理解し環境問題を解決したり、都会の人々の心を癒したりする活動が必要であると認識しました。そこで同じ思いを持つ仲間が集い、2012年8月に任意団体MSISKを設立しました。

現在までの取り組みとして、環境問題に関する活動として「流木アートから環境問題を考えるワークショップ」や「しぜんひろばハイキング」など人と自然が共生する活動として「社会参加を進めるミニ福祉農園」や「移住定住に関する情報収集」など地域美化及び活性化に関連する活動として「大阪市まち美化パートナーとしての天王寺地区でのごみ拾い」や「南田辺駅にんやか祭り出店」などが挙げられます。これらの事業は一定の成果を収め、イベントへの参加者数も増えてきましたし、行政を含め環境団体やNPO法人等との連携も進んでいます。そこで今後は、これまでの活動を継続していきながら、ごみ拾いを中心とした限定的な活動にとどめることなく、社会全体に対しての取り組みを視野に入れ、他分野への広がり・協働からさらなる公益活動を考えぬき実施していきたいと思っています。

今回、特定非営利活動法人の認証申請するに至ったのは、任意団体として実践してきた活動や事業をさらに地域に定着させ、継続的に推進していくことと、社会全体へと活動を広げていくためにより多くの行政機関や関連団体との連携を深めていく必要があること等の観点から、社会的にも認められた公益的な組織にしていくことが最良の策であると考えたからです。また、当団体の活動が営利目的ではなく、多くの市民の方々に協力していただくことが不可欠であるという点から、特定非営利活動法人格を取得するのが最適であると考えました。

法人化することによって、組織を発展、確立することができ、将来的に環境問題や少子高齢問題、芸術や災害救援などに関わるさまざまな事業をより多角的な視点から社会全体にわたって展開することができるようになり、地域社会に広く貢献、そこから輪を広げ活気あふれる良い社会作りが出来ると考えます。

2 申請に至るまでの経過

2012年8月 任意団体「MSISK」発足

2015年7月 共益活動から公益活動への方針転換

2016年4月 大阪市まち美化パートナー制度による定期環境美化活動事業を開始

その後、複数の活動・イベントを重ねて・・・

2017年1月 会員間で法人化の意思確認

2017年3月 設立総会開催